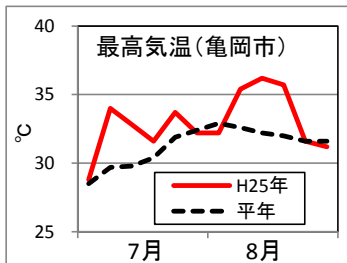


フルオープンハウスを利用した ミズナ・ネギ栽培の高温・猛暑対策 (農林センター)

主 旨

フルオープンハウスは、夏季の天井部開放により従来のビニルハウスと比べて作業性が改善されるとともに、ミズナ・ネギの収量・品質向上



近年の猛暑で、暑さに弱いミズナ・ネギ生産が減少



フルオープンハウス

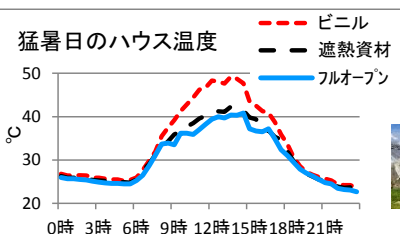


天井に防虫ネット

天候に応じて天井部を開け閉めできる

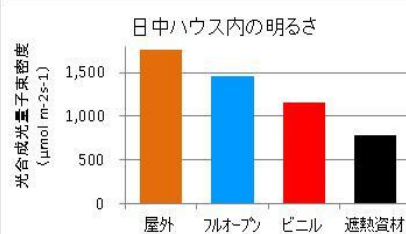
ハウス内の温度が上昇しない

ビニルハウスより温度上昇を最高で9°C抑制

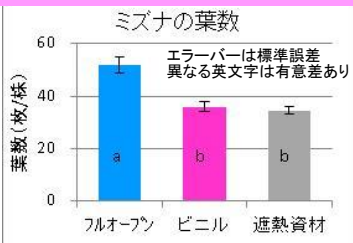


ハウス内の光量が落ちない

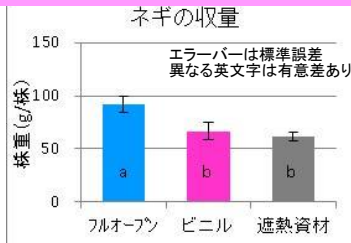
ビニルより25%
ビニルに遮熱資材
展開より87%光量増



ミズナは葉数多く、増収



ネギは太く充実し、増収



具体的な研究成果

- ・フルオープンハウスは、天井開放で、従来のビニルハウスと比べて温度上昇を最高で9°Cおさえ、ビニルに遮熱資材展開より87%明るい
- ・ミズナは、葉数が増加し株張り良く50%増収、ネギは葉鞘が太く30%増収
- ・既存ハウスを、約70万円/10aの資材費でフルオープン化

研究成果の活用場面、波及効果等

- ・降雨を考慮した天井開閉作業が必要です(降雨時に天井を開けて、かん水代わりにすることもできます)。
- ・ハウス内は比較的乾きやすくなりますので、かん水管理に注意が必要です。
- ・台風接近等に伴う強風時あるいは積雪時には、天井部を全開にすることでハウスの損壊を防ぐことができます。
- ・側面と天井部分に0.8mm目防虫ネットを張れば、害虫の侵入を抑制できます。
- ・熱中症予防には、フルオープンでも出来るだけ朝晩の涼しい時に作業します。
- ・施工を外注する場合は、別途費用が掛かります。